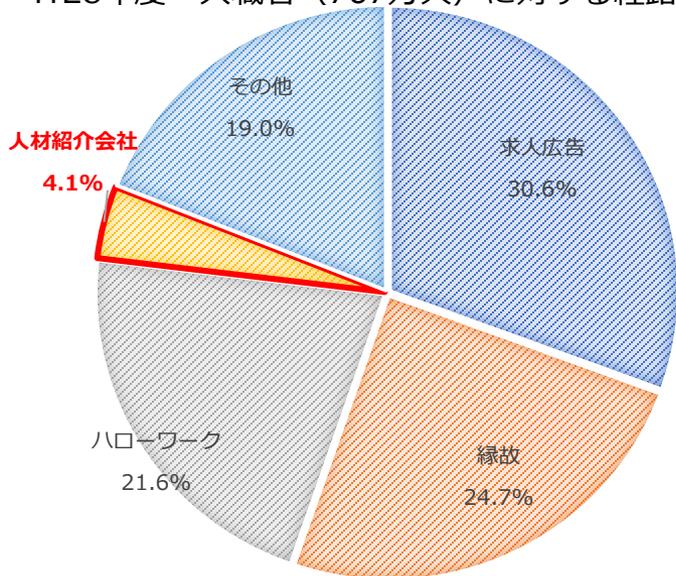


人材市場について

企業が人材採用において用いる手法は「求人広告」が最も多く、次いで「ハローワーク」（含むハローワークインターネットサービス）、「縁故」となっている。

人材紹介会社は実は全体の4.1%足らずではあるが、H25年度以降年々その利用率は増加している。これは、従来の採用手法では充足できないニーズを人材紹介会社が対応していると考えられ、その結果人材紹介会社の事業所数及び売上規模も同様に拡大傾向にある。

H28年度 入職者（767万人）に対する経路割合



【入職経路割合の推移】

	H25	H26	H27	H28
求人広告	35.8%	37.4%	31.9%	30.6%
縁故	21.8%	21.0%	23.1%	24.7%
ハローワーク	24.5%	23.2%	22.8%	21.6%
人材紹介会社	2.7%	3.5%	4.0%	4.1%

※ハローワークには職業安定所及びハローワークインターネットサービスを含む
 ※厚生労働省 入職者経路に関する分析より作成

	H25	H26	H27	H28	H29
有料職業紹介事業所数 (有料・無料の合計)	17,315 (18,184)	17,893 (18,805)	18,457 (19,453)	19,355 (20,406)	20,783 (21,867)
手数料収入	3,225億円	3,487億円	3,535億円	3,876億円	4,395億円

※厚生労働省 職業紹介事業報告の集計結果より作成
 (H29は集計ミスがあり、厚生労働省にて再集計中)

人材サービス市場について（人材紹介会社の概況）

有料職業紹介事業所は（人材紹介会社）事業所数：21,867（前年度比7.2%増）、市場規模4,395億円（前年度比13.4%）（厚生労働省H29職業紹介事業報告集計）と拡大傾向にある。
更に2018年に金融庁は銀行における人材紹介事業実施を解禁したことを受けて、地方銀行を中心に新たな収益機会として、各行が人材事業参入を決定している。
また、人材不足という課題（ニーズ）に対応するため、人材紹介事業を取り巻く新しいサービスが次々と投入され、人材紹介事業を含む人材サービス市場は活発な環境にあると考えられる。

